

道では、昨年 9 月の道の防災総合訓練の際に、札幌市内の小学校で防災に関する授業や避難訓練などを行う「1 日防災学校」を行ったところ、教育や防災の関係者の方々からは、こうした取り組みによって、児童生徒の防災意識が高まるだけでなく、家庭や地域への波及効果も高いという評価をいただきました。このため、平成 30 年度においては、14 振興局管内において「1 日防災学校」の取り組みをモデル的に実施することとしました。

(小学生を対象にした具体例)

「防災D○防災かるた」や「新聞紙スリッパ」の製作、ハイゼックス（炊飯袋）を活用した蒸しパン、うどんの調理など、体験を通じた防災の要素を取り入れた授業を実施します。

(中学生を対象にした具体例)

「避難所運営ゲーム北海道版（D○はぐ）」を活用した避難所運営疑似体験を通じ、災害時の避難所運営の即戦力としての力を育みます。

実施校の様子は随時 Facebook やホームページでお知らせします。

詳しくはコチラ ↓

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp/wordpress/bousaigakkou/>

- ほっかいどう防災教育協働ネットワーク構成員が北海道社会貢献賞(防災功労者)を受賞
道では、東日本大震災以降、道民や事業者、自主防災組織などの防災に対する意識が高まってきている中、地域における自律的な防災活動の推進や防災意識の向上をより一層図るため、北海道の防災対策の推進に関して、特に功績のあった個人または団体を対象に表彰しています。平成 29 年度は次の 3 団体が受賞し、このうち 2 団体が、ほっかいどう防災教育協働ネットワーク構成員でした。

(受賞団体)

イオン北海道株式会社(ネットワーク会員)

株式会社セコマ

DCM ホーマック株式会社(ネットワーク会員)

- 地震・津波による被害防止に向けた啓発マンガリーフレットを作成しました
地震調査研究推進本部による千島海溝沿いの地震活動の長期評価（第三版）の公表などにより、地震・津波への対応に関心が高まっている中、大地震津波が起きたときの身

を守る行動などを分かりやすく紹介する、マンガリーフレットを作成しました。

(ダウンロード先) http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sm/ktk/manga_jishin_all.pdf

【3】編集後記

3月の北海道は、暴風節や大雪に見舞われた数日後に、気温の上昇と大雨に伴う融雪害と立て続けに発生し、道内各所で災害に見舞われました。お亡くなりになられた方々には謹んでお悔やみ申し上げます。

今月もあっという間に月末へと差し掛かり年度末となりました。4月から当課も新体制となりますが、「1日防災学校」など新たな事業を実施し、引き続き地域の防災力向上へ向けて努めて参りますので、皆様、改めてよろしく願いいたします。(もっち)

=====

発行：ほっかいどう防災教育協働ネットワーク事務局

(北海道総務部危機対策局危機対策課)

- ・最新情報発信中！フェイスブック「ほっかいどうの防災教育」

<http://www.facebook.com/hokkaido.bousaikyouiku>

- ・ポータルサイト「ほっかいどうの防災教育」

<http://kyouiku.bousai-hokkaido.jp>

=====